

小グループでの話し合い まとめ

2018年6月
福音宣教企画室

小グループでの時間に出た意見を提出していただき、それをまとめて記載しています。

① 外国人の方がミサや教会の集まりに来ているか、その対応はどのようにしているか

- ・ 外国語ミサを行っている
- ・ ミサに来られた人は案内係が対応している（腕章などを使ってわかりやすくしている）
来られた方に名札をつけてもらっている
- ・ 日本語のミサの中でも奉納（言語に関係なく奉仕してもらえる）、朗読や共同祈願等（日本語または母国語で）役割を分担し、「共同体」の認識を高めている
- ・ 発行されている外国語の「聖書と典礼」、英語、スペイン語、ポルトガル語を準備している
ベトナム人が多いところではベトナム語も取り入れている
- ・ お知らせは日本語と英語、スペイン語等でも行っている
- ・ 主日のミサ後にコミュニケーションの時間として茶話会を設け、交流会を行ったり、教会行事（遠足、バザー、BBQ等）で交流を深めている
- ・ 初めて訪れた人は日本人と同様にお知らせや「広報誌」で紹介している

- ・ 国際協力部、典礼部、教育部（外国人の子ども教育）が中心となって関わりを広げている
子どもたちは、教会学校を通して教会の一員となっている小教区もある
- ・ 英語のできる信徒が中心となってコミュニケーションを図っている
- ・ 信徒が多い外国人のグループにはコミュニティーができており、同じ国の人たちとの交流が盛ん
若い人たちが積極的に交流している

- ・ 日本人信徒の数の方が少なく、そもそも外国人扱いはしていない
- ・ 聖体訪問をする外国人も多いので、いつでも教会を開けている
- ・ 母国語を話す司祭や修道者の存在や働きは大きい
- ・ 日本語だけではなく、英語が話せないベトナム人の方々との交流が課題

- ② 外国人の方が教会に来るようになって、どのようなことが豊かになったか
または 今後外国人の方が教会に来るようになったら、どのように対応したいか

豊かになった点

- ・(信仰) 表現や視点が異なり、学ぶ点が多い
- ・積極的な姿勢、ミサを大切にする、ミサに対する真摯な思いを学んでいる
- ・朗読や共同祈願の奉仕をしてもらい、典礼が豊かになった
- ・母国の料理、日本人には出来ない発想、飾り付けを提供してくれ、イベントが盛り上がる
- ・教会全体の活性化につながった
- ・雰囲気明るくなり、活発になった
- ・高齢化している教会にとっていろいろな働き手であり、大きな助けとなっている
- ・評議会のメンバーとしても活躍
- ・外国人信徒の交流がきっかけで、その国や異文化への理解、親しみが深まっている
- ・外国人との関係をより密接に感じさせてくれる

今後どのように対応したいか

- ・笑顔でできるだけの声掛け（日本語でも他国語でも）を心掛ける
- ・タブレット等を積極的に利用して、交流を図る
- ・担当者を決めて、より積極的な対応を心掛けたい
- ・ミサの奉仕や教会内の何らかの役割を分担してもらおう
- ・ティーパーティー等、食を通じて自然な交流をしていきたい
- ・ブロック大会等の機会をもっと設ける
- ・ベトナム人、韓国人のための「ゆるしの秘跡」の必要性があり、その機会を提供したい

③ その他

- ・日本人よりも外国人信徒が多くなっている教会からは、今後教会がどうなっていくか不安という意見も聞かれた
- ・維持費の問題